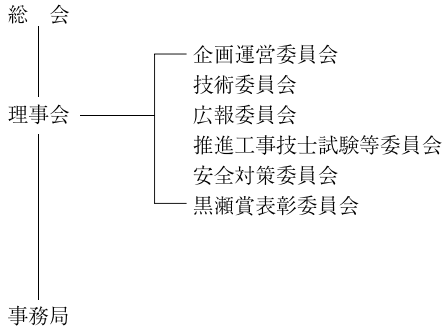


# 社団法人 日本下水道管渠推進技術協会 JAPAN MICRO-TUNNELLING ASSOCIATION

下水道展'09 東京 小間番号 6-33



会長  
中野 正明



副会長  
平井 正哉



副会長  
土屋 誠



専務理事  
石川 和秀

## ■市街地内の地下土木工事は「非開削」で

わが国の下水道普及率は平成20年末でようやく71.7%を超えたが、いまだ欧米諸国より立ち遅れています。

特に、地方の中小市町村においては、3割程度の低位にとどまっています。下水道は、人々が豊かで文化的な生活を送る上で、欠くことのできない生活関連施設として、都市、地方を問わず、早急に整備を急ぐ必要があります。

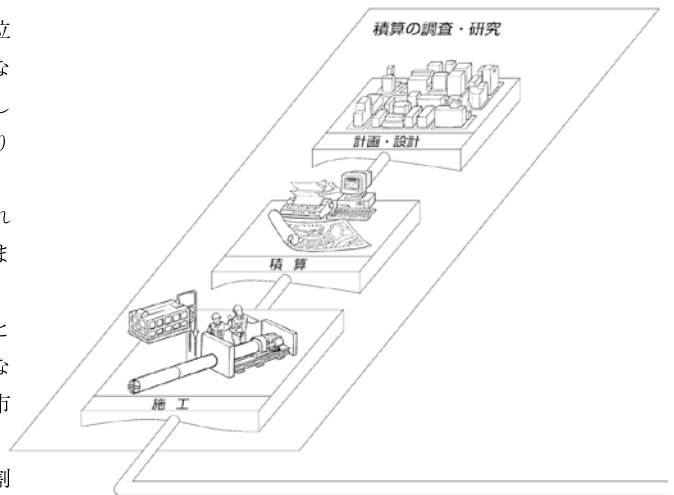
このため、現在、全国で下水道整備が鋭意進められて、下水道管渠は、毎年、約1万2千km敷設されています。これらは、通常、開削工法を用いて敷設されますが、開削工法で道路を縦断的にかつ広範囲で掘り割ることは、道路交通の支障となること、振動、騒音の原因となること、市民、社会活動の阻害となることなどから、市街地内での工事が困難となることが多くなっています。

このような状況の中で、「推進工法」は道路を掘り割ることのない、「非開削工法」として、施工対応範囲が広いこと、施工期間が短く、施工コストが比較的安いことなどから、今日、全国の下水道事業で広く活用されています。

## 【協会の概要】

### ■目的

下水道工事に係わる推進工法、推進工事に関する調査、研究を行い、その技術の向上を図るとともに効率的施工に努め、もって下水道事業の円滑な整備促進に貢献することにより、広く社会公共の福祉の増進に寄与することを目的とします。



### ■事業

- ①技術改善、向上に関する調査、研究
- ②推進工事の機器材、需要動向、積算に関する調査、研究
- ③安全施工に関する調査、研究
- ④資料収集および広報、機関誌監修、技術図書刊行
- ⑤国際交流 ⑥研修会、講習会の開催 ⑦資格試験の実施および登録
- ⑧関係官公庁の施策に対する協力、要望 ⑨その他

# 地域環境を守りつつ、安全、効率的な 下水道整備に貢献する「推進工法」

私たちが清潔で豊かな生活環境を享受するためには、下水道施設を完備することが不可欠です。現在、大都市では下水道整備がほぼ完了しているものの、地方の中小市町村での普及率は30%台しかありません。このような都市で、開削工法により下水道管渠を埋設できない市街地においては、推進工法を用いることにより、安全で効率的に下水道を築造することができます。

「社団法人日本下水道管渠推進技術協会」は、国土交通省（旧建設省）から昭和63年10月設立を許可され、以後、関係諸官庁のご指導のもと、推進工事に関わる会員企業が一同となって、推進工法による下水道事業の効率的整備促進に努めて参りました。

本協会は、推進工法の技術の向上・発展を図りつつ、下水道事業を実施する地方公共団体に安心して推進工法を活用いただけるよう、今後とも活動を進めて参ります。

## 社団法人日本下水道管渠 推進技術協会の活動

### ■ 推進工法のメリット

推進工法は、従来の開削工法のようにそのつど掘り返す必要がなく、その作業のほとんどが地下において行われます。そのため騒音、振動などの公害が生じないばかりか、工事による交通渋滞も緩和されます。また、経済的、効率的な工法としても注目され、その技術開発も目覚ましく、安全性もより高められています。

